



平成23年2月2日（水曜日）

## 昭和48年豪雪に迫る勢い!! 横手積雪1月過去最高に!!

### 道路雪害対策支部【警戒体制】

皆様既にご存じのとおり、今冬の降雪は希に見る大雪となり、日本各地で豪雪の被害が発生しております。ここ秋田県南地域の当事務所管内においては、特別豪雪地帯を抱える豪雪地帯であるため、昼夜問わずフル回転で国道13号の除雪作業を行っているところです。

さて、これまでの降雪を振り返ってみると、国道13号当事務所管内で初積雪を観測したのが11月29日となります。その後12月に入りまとまった降雪はなかったものの、12月の下旬に最初のまとまった降雪を観測しています。

年が明け1月になると6日から連続した降雪が観測され、日々10cm～30cmといった大雪が降り、現在に至るまでの豪雪となります。この間に事務所管内7観測地点（上院内・下院内・湯沢・横手・六郷・大曲・神岡）で最も多かった日降雪量は、横手59cmとなります。

この降雪により当事務所では、1月10日8時00分、7観測地点のうち3観測地点が「警戒積雪深」を超えたことから、『湯沢河川国道事務所 道路雪害対策支部【注意体制】』を設置することになります。

- ・ 湯沢観測地点 118cm（警戒積雪深：100cm）
- ・ 横手観測地点 113cm（警戒積雪深：100cm）
- ・ 大曲観測地点 92cm（警戒積雪深：90cm）

その後、秋田県においては1月18日12時00分に、県指定4観測地点のうち横手市が「警戒積雪深」に達し、秋田市も「警戒積雪深」に達するおそれがあり、更に降雪が続く見込みのため【警戒体制】へ移行しました。

これを踏まえ、同日13時00分に国土交通省秋田・湯沢能代河川国道事務所においても【警戒体制】を設置することになります。

#### <2月1日時点の積雪深>

- ・ 上院内 225cm（警戒積雪深：180cm）
- ・ 下院内 212cm（警戒積雪深：150cm）
- ・ 湯 沢 188cm（警戒積雪深：100cm）
- ・ 横 手 190cm（警戒積雪深：100cm）
- ・ 六 郷 171cm（警戒積雪深：90cm）
- ・ 大 曲 168cm（警戒積雪深：90cm）
- ・ 神 岡 145cm（警戒積雪深：90cm）



▲運搬排雪の状況

昨日、2月1日時点においても、雪はやむことを知らず、引き続き警戒が必要な状況です。当事務所の観測データによると、「累加降雪量」は過去最大の伸び率で推移し、『昭和58年豪雪』を抜き『昭和48年豪雪』に迫る勢いです。

地域の皆様には、日々の除雪作業、自動車運転、道路の通行等、十分に注意していただき、また、健康管理にも留意され、この豪雪を乗り切っていただきたいと思います。

当事務所においても、引き続き万全の体制で除雪作業にあたります。